

第一回ありがとう大賞 平成十八年度

入賞作品

- ・応募作品 一四三一首
 - ・永井公博先生 撰評
- ### 小学生の部

豊田市長賞

駒場小一年 沢口 華帆

ありがとう いわれた人もいう人も

まわりの人もうれしくなるよ

※添書きに朝の登校の時の様子とありました。

登校を見送る家の人、交通安全の立哨をする地域の人、横断時に停車してくれるドライバー。また、一緒に連立ってくれる上級生や友達。そんな人たちへの「ありがとう」ですね。

豊田市教育委員会賞

堤小六年 宮垣 俊希

ありがとう その一言を伝えたい

家族のみんな近所の人へ

※家族や近所の人たちに支えられ、小学校卒業です。「ありがとう」の一言に万感がこもっています。

会長賞 金賞

駒場小三年 田近 ゆうき

お友だちみんなみんなにありがとう

なかよしこよしで遊びましょう

※友達への感謝ですね。「仲良し小好し」の言葉をうまく使いましたね。

会長賞 銀賞

堤小二年 山口 えりな

大こん名人たのしかったよ ありがとう

おいしかったよ きりぼし大こん

※地域の農家の方の指導を受けて、学校で大根栽培をした時の作品です。同種の作品も多くありました。

会長賞 銅賞

堤小六年 酒井 亜海

両親へ感謝の気持ち ありがとう

いつも口では言えないけれど

※「ありがとう」のたった五音の言葉が、声に出して言えない。気恥かしがらずに言ってみましょう。

中日新聞社賞

堤小六年 飯野 実

父と母 日本に來られてありがとう

この人生を楽しく過ごす

※メモに、父と母がペルーから日本に來られたと書かれていました。親子揃って、美しい土地で、楽しく暮らしましょう。

サクラクレパス賞

飯野小四年 伊井 隆盛

うちの庭 花をさかせて美しい

おばあちゃんどうもありがとう

※遠地からの応募です。花作りをしているおばあちゃんへの感謝ですね。伊井さんの心にも立派な花が咲きました。



中学生・一般の部

豊田市長賞

前林中三年 日野 杏南

ありがとうこのひとことであれしいな

気持ちを込めて伝えていこう

※下句が良いですね。受け継いだ「ありがとう」を、後輩や幼い者に伝えていこうという意志が頼もしいです。

豊田市教育委員会賞

前林中三年 清水 仁士

あのころに言えなかったありがとう

今言いたくて涙浮かべる

※涙が出る程の思いだったのでですね。今からでも遅くないから言ってみて下さい。

会長賞 金賞

前林町 甲村 サカエ

ななそじ
七十路に入りて出逢えり忠順の

歌集ひもとく至福の夕べ

※忠順翁の歌集から、ものの見方、感じ方、人の生き方などを学んで、至福と詠んでいらっしやるのが素晴らしい。

会長賞 銀賞

市木町 長谷川 知子

土付きの野菜と共に受け取った

ふるさとに住む両親の愛

※土付きの新鮮な野菜を送ってくれた両親への感謝の気持ちが詠出しています。

会長賞 銅賞

前林中三年 関田 梨沙

心ではありがとうねと叫んでる

自分の気持ち伝えたいなあ

※思いが強ければ、きつと心の叫びは相手に伝わることでしょう。

中日新聞社賞

堤小五年担任 木村 裕美子

あたたかい子らの笑顔に励まされ

つらい毎日乗り越えられた

※児童たちの作品と一緒に応募なさったものです。こうした共学共働の姿が美しい。

サクラクレパス賞

前林中二年 尾島 志保

ありがとう いろんな人に言うけれど

言われるようになってみたい

※下句の「言われるようになってみたい」という心掛けが素晴らしいですね。

* * *

初めての短歌募集となりました「忠順ありがとう大賞」に地域内外の幅広い年齢層の方々より合計千四百三十一首の応募をいただくことができました。

事務局での一次審査を経て最終審査の永井公博先生により十四名の入賞者が決まりました。先生には撰評も添えていただきました。

ほほえましい家族の風景、なつかしい思い出、友達のことなど、心温まるいろいろな感謝の気持ちが込められた作品ばかりです。三十一文字に託された、さまざまな感謝の気持ちが詠まれた、心温まる人と人との繋がりが伝わってくるたくさんの短歌に出会うことが出来ました。作品を拝見しながら「ありがとう」の題材の広さを感じております

応募して下さった大勢の方々、授業・行事等で大変お忙しい中、協力して頂きました小・中学校の先生方に厚く御礼申し上げます。

事務局 川村